

阪神間の100年の歴史〈後編〉



詳細は
こちら

第1回 9月8日(日) 伊熊 昌治 (いくま しょうじ) 大手前短期大学 非常勤講師

岩本房吉という方を知っていますか？—茶室「竹立庵」を巡る阪神モダニズムの痕跡—

大手前大学構内に移築現存している茶室は、中之島公会堂建設のために寄付をした相場師岩本栄之助が建設したという伝承があります。大手前女子大学の寮「修学館」として1992年(平成4年)まで使用されてきた和風邸宅に付随していた茶室の調査から岩本房吉という人物が浮かび上がりました。また隣接している聖ペテロ協会の調査から、阪神間モダニズムの風が吹き抜ける中で岩本房吉が生きぬぎ演じてきた大阪、池田、夙川という三拠点での生活が浮かび上がってきました。岩本房吉及び岩本栄之助との関係を探り、茶室「竹立庵」の現代的意義を考えます。



東京大学工学部建築学科卒業後、建設会社、組織設計事務所、アトリエ設計事務所を経て2000年より伊熊昌治建築設計事務所。2023年伊熊高木建築設計事務所に改名。劇場設計・福祉施設関連等建築設計に従事。2023年より大手前短期大学非常勤講師、摂南大学特任教授。町家等保存・登録有形文化財等の調査や都市と建築の関係、上演としての建築の可能性を探っている。京都市在住。

第2回 10月12日(土) 海老 良平 (えび りょうへい) 大手前大学 現代社会学部 准教授

阪神間の遊園地開発の歴史—宝塚・甲子園の源流—

観覧車にメリーゴーランド、遊園地は昭和の家族にとって休日の行楽の代名詞でしたが、21世紀に入るとテーマパークの台頭などによって、老舗と言われる遊園地は次々に閉園することとなりました。歴史を遡れば、日本の多くの遊園地は鉄道会社の郊外開発の一環として誕生していきますが、その始まりとなるのが今から約100年前の20世紀前半にかけてです。阪神間にも宝塚や甲子園が誕生しますが、それらに先駆けて開発されたのが箕面と香櫨園です。明治から大正時代における阪神間の遊園地史を紐解きながら、宝塚と甲子園という日本を代表する行楽の街の源流を辿ってみます。



青山学院大学経済学部卒、神戸学院大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。2020年より現職(大手前大学現代社会学部准教授)。専門は観光学、地域研究。近代の阪神間のレジャー開発史の視点から、広く阪神間モダニズムの時代の生活文化、経済社会的背景について研究している。著書に『入門観光学[改訂版]』(共著、ミネルヴァ書房)、『1923〜関東大震災と阪神間〜』(共著、神戸新聞総合出版センター)など。神戸外国人居留地研究会理事。

第3回 11月9日(土) 水田 憲志 (みづた けんじ) 大手前大学 非常勤講師

近代都市の拡大—鉄道、郊外住宅地、工業地帯の形成—

近代の大阪・神戸は工業化の進展とともに人口が増加し、過密になった都市は外側(郊外)へ拡大していきました。過密な都市を離れ、良好な居住環境を求めて郊外住宅地に居住し、鉄道で都市に通勤するという生活様式が阪神間で広まったのは今からおよそ100年前です。住宅地だけではなく、都市に立地していた工場も郊外へと広がり、「阪神工業地帯」と呼ばれる日本有数の工業地帯が形成されました。1920年代から1930年代の大阪を中心とする鉄道、郊外住宅地、工場をGIS(地理情報システム)で地図化し、その広がり方について解説します。



関西大学文学部史学・地理学科卒業。関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位修得退学、大手前大学非常勤講師・史学研究所客員研究員。専門分野は人文地理学(歴史・社会地理学)。近年は主に近・現代の大阪を研究。近著『図説 京阪神の地理—地図から学ぶ—』(共著、ミネルヴァ書房、2019年)、「大阪船場における繊維卸売企業の成立と展開—毛織物卸売商社豊田商店の事例—」(共著、大手前大学史学研究所紀要17号、2023年)。

第4回 12月14日(土) 藤本 雅之 (ふじもと まさゆき) 名古屋市科学館 学芸員(工学)

神戸工場での日本初の蒸気機関車づくり

国産初の蒸気機関車は、明治26年官設鉄道の神戸工場で造られました。設計と製造監督は、イギリス人お雇い外国人であるリチャード・フランシス・トレヴィシック(以下R.F.トレヴィシックとする)でした。なお、R.F.トレヴィシックは、世界で最初の蒸気機関車を発明したリチャード・トレヴィシックの孫という、蒸気機関車と関わりの深い血筋でした。彼らの人生をイギリスで撮影した写真を通じて紹介します。R.F.トレヴィシックは、神戸在勤中に神戸で製造に関わった蒸気機関車の写真や図面をイギリス機械学会へ送付していたのでそれらも紹介します。



東京農工大学工学部機械システム工学科卒業、卒業後愛媛県総合科学博物館の産業研究科に勤務し、愛媛県の産業についての博物館業務に従事した。京都鉄道博物館での勤務経験を経て、現在は名古屋市科学館に勤務し、蒸気機関車の業務にも携わっている。リチャード・フランシス・トレヴィシックとその一家に関する研究を行い、学会誌や口頭で発表を行った。また、トレヴィシックの弟子とも言える太田吉松の研究も行った。

大手前大学・大手前短期大学 2024年度 後期 公開講座

開講日	第1回：9月8日（日）／第2回：10月12日（土）／第3回：11月9日（土）／第4回：12月14日（土） ※各回 10:00～11:30（受付 9:15～）		
会 場	大手前大学・大手前短期大学 さくら夙川キャンパス A棟教室		
受講料	全4回一括申込：3,000円／各回申込：1,000円 ※いずれも税込	定 員	各回 100名（先着順）
受講申込 受付期間	■ 全4回一括お申込みの場合／ 2024年7月8日（月）～ 8月25日（日） ■ 1回ごとのお申込みの場合／ 2024年7月8日（月）～各講座実施月の前月25日まで		
注意事項	1. 定員に達した時点で受付を終了いたします。 2. 申し込み時にいただいた個人情報は、講座関係の連絡や大手前学園からの各種お知らせ以外には使用いたしません。 3. 参加者による写真・動画・音声の記録は禁止とさせていただきます。 4. 期日までに受講料のご入金がない場合は、お申し込みを取り消させていただきます。 5. ご入金後のキャンセルにつきましては、理由の如何を問わず返金いたしかねますので、 キャンセルされる場合は受講料振込みの前に大手前シティカレッジ事務局までご連絡ください。 6. 駐車スペースはございませんので、お車でのご来学はご遠慮ください。		
申込方法	○Webサイトからのお申し込み 本学Webサイト (https://www.otemae.ac.jp/social/learning/lecture/) または、 QRコード「公開講座」サイト・申込フォームから必要事項をご入力の上、お申し込みください。 ○FAXでのお申し込み 受講申込用紙に必要事項を記入し、大手前シティカレッジ事務局（FAX:0798-32-5147）へ送信してください。 お申し込みいただいた方には大手前シティカレッジ事務局より、受講料のお振込み方法等お手続きに関するご案内をメールまたは郵送いずれかの方法でお知らせいたします。受講料は各講座実施月の前月末日までにお振込みください。		

〔2024年度 後期〕大手前大学・大手前短期大学 公開講座 受講申込用紙

※印は必須記入項目です。

フリガナ	性 別			※年 齢			
※氏 名	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 未回答			☐ 10代 ☐ 50代	☐ 20代 ☐ 60代	☐ 30代 ☐ 70代	☐ 40代 ☐ 80代以上
※住 所	〒						
※電話番号	FAX 番号						
※メールアドレス							
※申込講座 (ご希望の講座に ☒ を入れてください)	一括でのお申し込み ☐ 全4回（9月・10月・11月・12月） 1回ごとのお申し込み ☐ 9月講座 ☐ 10月講座 ☐ 11月講座 ☐ 12月講座						
★アンケートにご協力ください。今回、本講座を何でお知りになりましたか？該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）							
1. 本学 Web サイト 2. Web 広告 3. 新聞広告・コミュニティ誌 4. 事務局からの案内 5. 友人・知人の紹介 6. 施設配架チラシ 7. その他（ ）							

公開講座サイト

Webサイト



大手前大学 公開講座



・JR「さくら夙川駅」
・阪急「夙川駅」
・阪神「香櫨園駅」
より徒歩約7分

主催／お問い合わせ先（平日9:00-17:00）

大手前大学・大手前短期大学 地域・社会連携室 大手前シティカレッジ事務局
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42
TEL:0798-32-7532 FAX:0798-32-5147 Email:occi@otemae.ac.jp
※土日祝日および8月13日（火）～16日（金）の夏期休暇期間は閉室となります。

後 援

西宮市

協 力

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

